

bizhub C3110

すぐに使える簡単設定ガイド

目次

- 1. 安全にお使いいただくために
- 2. マニュアルについて
- 3. 本機の概要
- 4. 用紙のセット方法
- 5. 本機の初期設定
- 6. 基本的な使い方
- 7. 索引

本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店
もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものと
お取替えいたします。

もくじ

1 安全にお使いいただくために

| | | |
|-----|-------------------------------|------|
| 1.1 | はじめに..... | 1-2 |
| | 国際エネルギースタープログラムについて | 1-2 |
| | 国際エネルギースタープログラム対象製品とは？ | 1-2 |
| | 省エネルギー設計 | 1-2 |
| | 使用可能な用紙 | 1-2 |
| | 自動両面機能 | 1-2 |
| | エコマークについて | 1-3 |
| 1.2 | 安全にご使用いただくために | 1-4 |
| | 絵表示の意味 | 1-4 |
| | おもな図記号の例として以下のものがあります。..... | 1-4 |
| | 〈電源接続について〉 | 1-4 |
| | 〈設置について〉 | 1-6 |
| | 〈本機の使用に際して〉 | 1-7 |
| | 〈消耗品について〉 | 1-8 |
| 1.3 | 適合宣言文 | 1-10 |
| | レーザーの安全性 | 1-10 |
| | 内部レーザー放射 | 1-10 |
| | レーザー安全ラベル | 1-10 |
| | オゾン放出 | 1-11 |
| | 電波障害について | 1-11 |
| | 高調波電流について | 1-11 |
| | USB Host | 1-11 |
| | 2 次電池（充電式リチウム電池）の使用について | 1-11 |
| | エネルギー消費効率について | 1-11 |
| | 物質エミッションについて | 1-11 |
| 1.4 | 注意表記・注意ラベル | 1-12 |
| 1.5 | 設置スペース | 1-14 |
| | 正面図 | 1-14 |
| | 右側面図（オプション装着時） | 1-14 |
| 1.6 | 使用上のご注意 | 1-15 |
| | 設置電源..... | 1-15 |
| | 使用環境..... | 1-15 |
| | コピーの保存について | 1-15 |
| | トナーカートリッジの取り扱いについて | 1-15 |
| | 換気について | 1-15 |
| | 本機内部の保存データについて..... | 1-16 |
| | 運搬時のご注意 | 1-16 |
| 1.7 | 複製禁止事項 | 1-17 |
| | 法律により複製を禁止されているもの..... | 1-17 |
| | 著作権の対象となっているもの..... | 1-17 |
| | 注意を必要とするもの | 1-17 |

2 マニュアルについて

| | | |
|-------|---------------------------------------|-----|
| 2.1 | マニュアルについて | 2-2 |
| 2.2 | マニュアル体系について | 2-2 |
| | 冊子マニュアル | 2-2 |
| | User's Guide CD-ROM 収録のユーザーズガイド | 2-2 |
| 2.3 | User's Guide CD-ROM について | 2-3 |
| 2.3.1 | 動作環境..... | 2-3 |
| 2.3.2 | トップページの表示のしかた | 2-3 |
| | Windows をお使いの場合 | 2-3 |
| | Mac OS をお使いの場合 | 2-3 |
| 2.4 | 本文中の表記や記号について | 2-4 |
| | 手順文について | 2-4 |

| | |
|------------------------|-----|
| 本文中の記号について | 2-4 |
| 製品やキーの名称について | 2-4 |
| アプリケーション名の表記について | 2-4 |

3 本機の概要

| | | |
|-------|-------------------------|------|
| 3.1 | 本機について | 3-2 |
| 3.1.1 | 各部の名称 | 3-2 |
| | 前面 | 3-2 |
| | 背面 | 3-3 |
| 3.1.2 | オプションの構成 | 3-4 |
| 3.2 | 電源について | 3-5 |
| 3.2.1 | 電源スイッチを ON/OFF する | 3-5 |
| 3.2.2 | 節電モードに切り換える | 3-6 |
| 3.3 | 操作パネルについて | 3-7 |
| 3.4 | 画面の構成 | 3-9 |
| 3.4.1 | メイン画面について | 3-9 |
| | コピーモード | 3-9 |
| | スキャンモード | 3-9 |
| | ファクスモード | 3-10 |
| 3.4.2 | ヘルプ画面について | 3-10 |
| 3.5 | 文字入力のしかた | 3-11 |
| | 入力モードを変更する | 3-11 |
| | 入力できる文字 | 3-11 |

4 用紙のセット方法

| | | |
|-------|----------------------|-----|
| 4.1 | 用紙について | 4-2 |
| 4.1.1 | 対応する用紙の種類を確認する | 4-2 |
| 4.1.2 | 対応する用紙サイズを確認する | 4-3 |
| 4.1.3 | 使用上のご注意 | 4-4 |
| | 使用できない用紙 | 4-4 |
| | 用紙の保管のしかた | 4-4 |
| 4.2 | 手差しトレイにセットする | 4-5 |
| 4.3 | トレイ 1 にセットする | 4-7 |

5 本機の初期設定

| | | |
|-----|------------------------------|-----|
| 5.1 | ネットワーク接続の準備（管理者向け） | 5-2 |
| | LAN ケーブルの接続を確認する | 5-2 |
| | IP アドレスを割り当てる | 5-2 |
| 5.2 | ファクスの準備（管理者向け） | 5-3 |
| | モジュラーケーブルの接続を確認する | 5-3 |
| | お使いの電話回線の種類を指定する | 5-3 |
| | 構内回線（PBX）環境で使うための準備をする | 5-3 |
| | ファクスの受信方法を選ぶ | 5-3 |
| | 発信元情報を登録する | 5-3 |
| | 本機の日時を設定する | 5-3 |
| 5.3 | ハードディスク（HDD）の設定（管理者向け） | 5-4 |

6 基本的な使い方

| | | |
|-------|--------------------------------|-----|
| 6.1 | プリント機能を使う（Windows 環境の場合） | 6-2 |
| 6.1.1 | プリンタードライバーについて | 6-2 |
| 6.1.2 | 印刷の準備（ネットワーク接続） | 6-2 |
| | LAN ケーブルの接続を確認する | 6-2 |
| | ネットワーク設定を確認する | 6-2 |
| | プリンタードライバーをインストールする | 6-3 |

| | | |
|-------|---|------|
| 6.1.3 | 印刷の準備 (USB 接続) | 6-5 |
| | インストール設定を変更する (Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2) | 6-5 |
| | プリンタードライバーをインストールする | 6-6 |
| 6.1.4 | プリンタードライバーの初期設定 | 6-8 |
| 6.1.5 | 印刷のしかた | 6-9 |
| 6.2 | スキャン送信機能を使う | 6-10 |
| 6.2.1 | スキャン送信機能でできること | 6-10 |
| 6.2.2 | 送信のしかた | 6-11 |
| 6.3 | ファクス機能を使う | 6-12 |
| 6.3.1 | ファクス機能について | 6-12 |
| 6.3.2 | 送信のしかた | 6-13 |
| 6.3.3 | ファクス送信機能の紹介 | 6-14 |
| 6.3.4 | ファクス受信機能の紹介 | 6-14 |
| 6.4 | コピー機能を使う | 6-15 |
| 6.4.1 | コピーのしかた | 6-15 |
| 6.4.2 | コピー機能の紹介 | 6-16 |
| 6.5 | USB メモリー内のファイルを印刷する | 6-17 |
| | 対応する USB メモリー | 6-17 |
| | 印刷のしかた | 6-17 |
| 6.6 | 宛先を登録する | 6-19 |
| | 短縮宛先について | 6-19 |
| | ファクス宛先を登録する | 6-19 |
| | E-mail 宛先を登録する | 6-19 |

7 索引



1

安全にお使いいただくために

1 安全にお使いいただくために

1.1 はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本章は、下記について記載しております。製品のご使用前に必ずお読みください。

- 製品を安全に使用していただくために守っていただきたいことがら。
- 製品の安全性に関する情報。
- その他、製品を使用する上での注意事項。

ユーザズガイド内で使用しているイラストや画面などは、実際の装置や画面とは異なる場合があります。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者です。本製品は国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしています。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラムは、エネルギー効率に配慮した製品の開発と普及を目的とした任意の制度です。

本製品は、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

省エネルギー設計

本製品は消費電力の低減を目指した設計です。

一定期間マシンを使用しない場合に、自動的に本体の消費電力を抑制する節電モードに切り替わる機能を搭載しています。節電モード（スリープモードなど）に入る時間を短くすることで、消費電力の低減が可能です。

使用可能な用紙

本製品は再生紙の使用が可能です。

薄紙 (64g/m²) の使用を保証しており、薄紙をご使用頂くことで、省資源、環境負荷低減に貢献できます。

推奨再生紙：コニカミノルタ KR - 100 (坪量 68g/m²、古紙配合率 100%、白色度 68%)

推奨上質紙：コニカミノルタ J ペーパー (坪量 64g/m²、白色度 80%)

自動両面機能

本製品は両面印刷機能を標準搭載しており、自動で用紙の両面に印刷が可能です。この機能を使用することで用紙の使用量を削減でき、貴重な環境資源の保全に貢献します。

エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。



エコマーク認定番号 第 14 155 034 号
bizhub C3110 は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

1.2 安全にご使用いただくために

製品を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置および日常の取扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。製品の電源を入れる前に必ずお読みください。

重要

本書はいつでも見られる場所に大切に保管ください。

本書内に書かれている注意事項についても必ずお守りください。

KMI_Ver. 02_J



※ ご購入いただいた製品によってはこの項の内容と、一部合致しないものもありますが、ご了承ください。

絵表示の意味

安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。




誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

| 絵表示 | 説明 |
|---|-------------------------------------|
|  警告 | 誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。 |
|  注意 | 誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。 |

おもな図記号の例として以下のものがあります。

| 図記号 | 説明 | 図記号 | 説明 | 図記号 | 説明 |
|---|----|---|---------|---|----------|
|  | 禁止 |  | 分解禁止 |  | 接触禁止 |
|  | 指示 |  | アース（接地） |  | 電源プラグを抜く |
|  | 注意 |  | 高温注意 |  | 感電注意 |

〈電源接続について〉

| | | |
|--|--|---|
| <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  警告 </div> <p>製品に付いている、または、同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。販売国により同梱されている電源コードが使用できない場合は、以下条件を満たした電源コードを選択するか、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電源コードは、電圧と電流の定格をこの製品の定格銘版に適する。 ・ 電源コードは、地域の規定要求に適合する。 ・ 電源コードは、アースピン / 端子がある。 | |  |
| <p>この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。</p> | |  |

警告

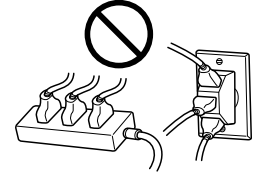
電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、踏みつけたり、引っばったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線など）を使用すると火災のおそれがあります。



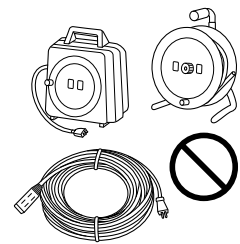
製品に表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。



タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。



延長コードは使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。同梱されている電源コードでコンセントに届かない場合は、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にご相談ください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

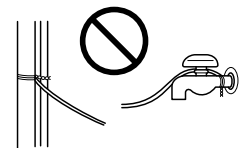
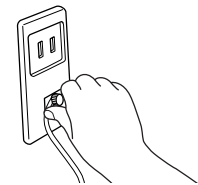
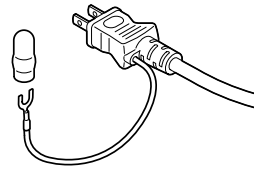


電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。



アース（接地）されたコンセントに接続してください。或いは必ずアース（接地）接続を行ってください。アース（接地）接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。アース（接地）接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース（接地）接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。なお、アース（接地）接続できない場合は、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にお問い合わせください。アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。

- ・ コンセントのアース端子
 - ・ 接地工事を施してある接地端子（第D種）
- 次のような所には絶対にアース線を取り付けしないでください。
- ・ ガス管（ガス爆発の原因になります）
 - ・ 電話線用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）
 - ・ 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）



⚠ 注意

コンセントはできるだけ製品のそばにあるものを利用し、そのコンセントに容易に近づけるようにしてください。火災、感電のおそれがあります。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。



プラグを抜くときは電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。



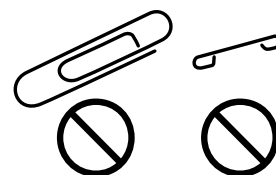
〈設置について〉

⚠ 警告

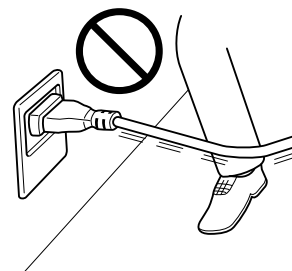
包装材のポリ袋は幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。



本製品の上に水などの入った花瓶などの容器や、クリップなどの小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体などの異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にご連絡ください。



電源コードの上を人が踏んで歩いたり、足でひっかけたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。



⚠ 注意

＜固定脚を使用するよう指示がある場合＞
本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



⚠ 注意

本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。



本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



本製品を移動する際は必ずユーザズガイドなどで指定された場所を持って移動してください。記載されている場所以外を持って製品を移動させると製品が落下するなど、けがの原因となります。



〈本機の使用に際して〉

⚠ 警告

本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。



本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。



本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。



本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。



本製品の周囲や内部に引火性／可燃性のスプレーや液体、ガスなどを使用しないでください。また、引火性／可燃性のダストスプレーを使って、機内清掃は行わないでください。火災や爆発の原因となります。



＜機内近接通信を目的とした RFID モジュール（13.56 MHz に限る）を使用している場合、或いは電磁誘導加熱（IH）技術（20.05 kHz ～ 100 kHz に限る）を使用している場合＞



本製品から微弱な電磁波が出ています。

植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）をご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてください。そして、医師にご相談ください。本製品が上記に該当するか不明の場合は、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンター、サービス実施店にお問い合わせください。

＜非接触 IC カードリーダーを使用している場合＞

植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）の装着者は、装着部位を IC カードリーダーの 12 cm 以内に近づけないでください。

電波により植込み型医療機器の動作に影響を与えることがあります。



⚠ 注意

換気の悪い部屋で、長時間にわたる使用や大量にコピー／プリントをする場合には、排気臭が気になることがありますので、十分に換気を行ってください。



注意

本製品の内部には、高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。やけどの原因となります。



連休などで本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



ご使用の際は、ランプの光を見続けしないでください。目の疲れの原因となることがあります。



ステーブル針のついた用紙、導電性の用紙（銀紙／カーボン含有紙など）、表面が加工された感熱紙／インクジェット用紙などは使用しないでください。火災の原因となることがあります。



〈消耗品について〉

警告

トナーまたはトナーの入った容器（トナーカートリッジや現像ユニットなど）を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。



注意

トナーの入った容器（トナーカートリッジや現像ユニットなど）を子供の手の届くところに放置しないでください。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因となることがあります。



トナーの入った容器（トナーカートリッジや現像ユニットなど）は、精密機器や記憶媒体などの磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。



トナーの入った容器（トナーカートリッジや現像ユニットなど）は、無理に開けたりしないでください。トナーが漏出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。



トナーが服や手についた場合には、石鹸を使って水でよく洗流してください。



トナーを吸入した場合には、新鮮な空気のある場所へ移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状がでるようであれば、医師の診察を受けてください。



トナーが目に入った場合には、ただちに流水で 15 分以上洗流してください。刺激が残るようであれば、医師の診察を受けてください。



トナーを飲込んだ場合には、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水をお飲みください。必要に応じて医師の診察を受けてください。



銅製の端子がついたユニット（トナーカートリッジや現像ユニットなど）の端子に触れないでください。静電気により製品が故障するおそれがあります。



⚠ 注意

ご使用の際は、マニュアルをよくお読みのうえ正しくお使いください。

＜定着ユニットの交換指示がある場合＞

定着部は非常に高温になっています。定着ユニットは、電源を切ったあと、各ドアやカバーを開いた状態で指定時間以上放置し、定着部が室温になってから交換してください。やけどの原因となります。



1.3 適合宣言文

レーザーの安全性

この製品はクラス 3B の半導体レーザーを使用しています。このレーザーダイオードの最大出力は 22mW で、波長は 770 ～ 800 nm です。

この製品はクラス 1 レーザー製品 (IEC 60825-1: 2007) として認定されています。レーザー光放射は保護カバーの中に完全に遮へいされていますので、この説明書に記載の指示事項を守って使用するかぎり、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。

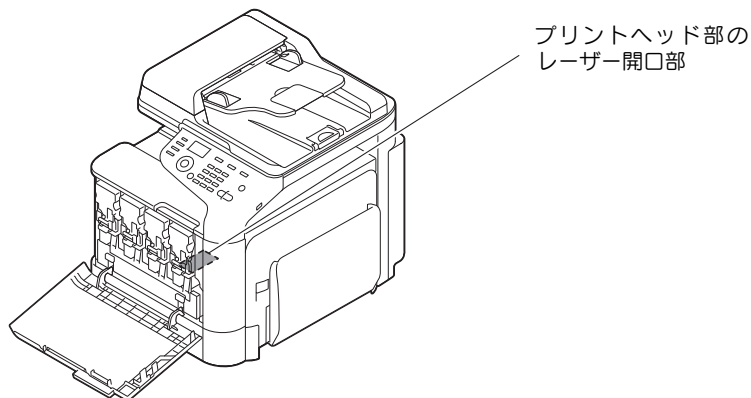
内部レーザー放射

最大平均放射パワー：プリントヘッドの開口部で 13.6 μ W

波長：770 ～ 800 nm

本機は、Class 3B のレーザーダイオードを使用し、不可視のレーザー光を放射します。

プリントヘッド部には、このレーザーダイオードと読み取り用ポリゴンミラーが組み込まれています。プリントヘッド部は市場保守調整品目ではありません。したがって、プリントヘッド部は、どのような状況でも開けないでください。

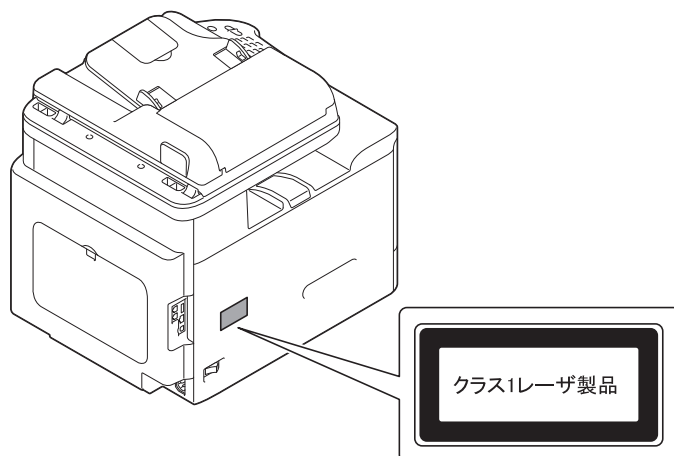


⚠ 注意

- ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらし恐れがあります。
- これは半導体レーザーです。このレーザーダイオードの最大出力は 22 mW で波長は 770-800 nm です。

レーザー安全ラベル

下図に示すように、レーザー安全ラベルが本機の外側に貼り付けられています。



オゾン放出

本機の使用中は少量のオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量に印刷を行ったりする場合には臭気が気になることがあります。快適な環境を保つために、定期的な部屋の換気をお勧めします。

電波障害について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

この装置は、シールドタイプのインターフェースケーブルを使用して下さい。ノンシールドケーブルを使用するとラジオやテレビジョン受信機の受信障害を引き起こすことがあり、VCCI で禁止されています。

高調波電流について

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

USB Host

USB Host には USB 機器（メモリー、認証装置、ハブ等）を直接差し込んでください。

延長ケーブルを使用した場合、電波障害を引き起こすおそれがあります。

2 次電池（充電式リチウム電池）の使用について

本機では、2 次電池は一切使用しておりません。

エネルギー消費効率について

TEC 値 * : 2.1 kwh/ 週

* 国際エネルギースタープログラムに基づく消費電力

エネルギー消費効率 * : 109 kWh/ 年

区分 : a

* 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.155「複写機・プリンタなどの画像機器」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております純正品を使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL UZ-171 の付録 S-M に基づき試験を実施しました。）

1.4 注意表記・注意ラベル

本機には以下に示す位置に安全に関する注意表記や注意ラベルがあります。

紙づまり処理時などに事故のないようご注意ください。

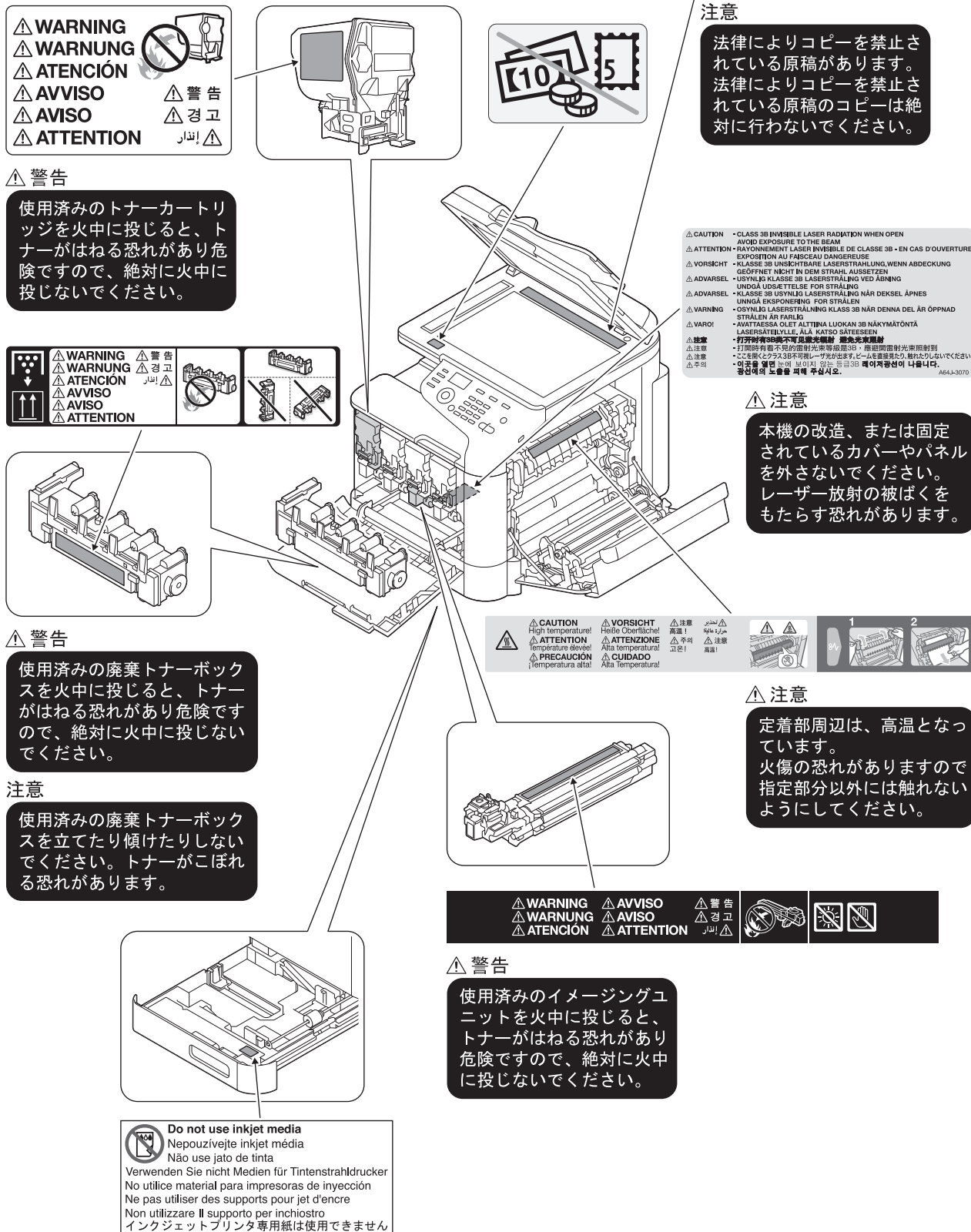
コピー禁止に関するご注意 コピーの不正使用を防止するため、法律によりコピーが禁止されている原稿があります。

●紙幣、貨幣、国債証券、地方債証券、政府発行の有価証券、印紙および証紙、切手およびその他の郵便に關する料金を表す証券はコピーするだけで罰せられることがあります。たとえ、原本の印に準じてあってもコピーすることはできません。

●書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真などの著作物は、著作権法上、個人的に使用するためにコピーする以外は、禁じられています。

●民間発行の有価証券（株式、手形、小切手、商品券）、定期券、回数券などは、事業会社や行政機関のために必要最小限のコピーする以外は、政府の指導により注意を呼びかけられています。

●政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書および通行券、食券などの切符類もコピーは避けられてください。



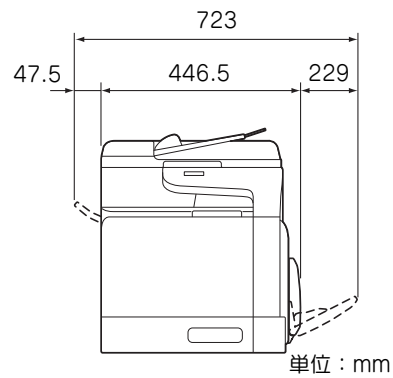
⚠ 注意

- これらの注意表記・注意ラベルを見ずに触れると、感電や火傷など思わぬ事故になることがあります。注意ラベルは、はがさないようにしてください。また、注意ラベルがはがれたり、汚れて見えない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

1.5 設置スペース

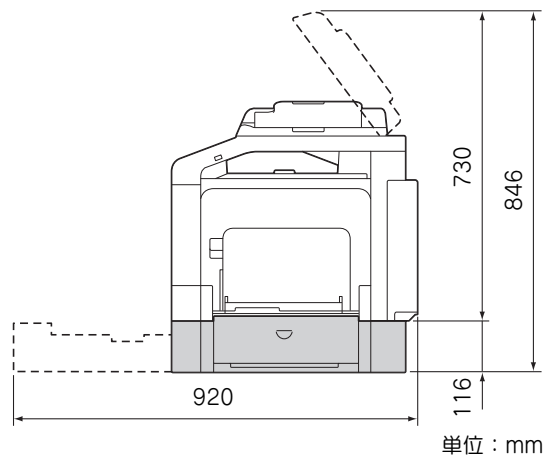
プリント操作、消耗品の補給、交換、定期点検が容易に行えるように、十分な設置スペースを確保してください。

正面図



右側面図（オプション装着時）

イラストの網掛け部はオプションです。



1.6 使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

設置電源

設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

- 使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。
- 電圧変動率：AC 100 V \pm 10% 以内
- 周波数変動：50 Hz/60 Hz \pm 3 Hz 以内

使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

- 気温 10 $^{\circ}$ C \sim 30 $^{\circ}$ C 温度変化率 10 $^{\circ}$ C /h
- 湿度 15% \sim 85% 湿度変化率 10%/h

コピーの保存について

コピーの保存について、次の点にご注意ください。

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- コピーされたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒コピーに比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

トナーカートリッジの取り扱いについて

トナーカートリッジを取り扱う場合、以下の項目をよく読み取り扱いには十分に注意してください。

- トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。
トナーが漏れ出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。
- トナーが服や手に付いた場合
石鹸を使って水で良く洗い流してください。
- トナーを吸入した場合
新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。
咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーが目に入った場合
直ちに流水で 15 分以上よく洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合
口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水をお飲みください。必要に応じて医師の診察を受けてください。
- トナーカートリッジは、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

本機内部の保存データについて

本機にハードディスクが装着されている場合、本機の譲渡、廃棄またはリース返却時、情報の漏洩を防止するため、全データ上書き削除機能を実行することをおすすめします。

全データ上書き削除機能を実行すると、ハードディスク 全領域に保存されているすべてのデータの上書き削除に加え、NVRAM に保存されたすべてのパスワードを出荷時設定に戻すため、情報の漏洩を防止できます。

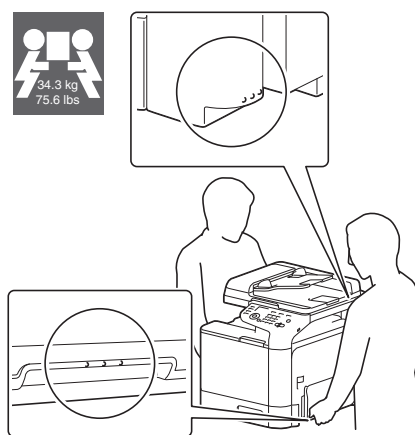
全データ上書き削除機能について詳しくは、「ユーザズガイド CD」をごらんください。

また、全データ上書き削除機能を実行する場合は、サービス実施店にご連絡ください。

万が一ハードディスクが故障したときに備え、定期的にハードディスクのバックアップをとっておくことをお勧めします。ハードディスクのバックアップについて詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

運搬時のご注意

本機は消耗品を含めて約 34.4kg の重量があります。本機を持ち上げる場合は、必ず 2 人で行ってください。



1.7 複製禁止事項

本機でなにを複製してもよいわけではありません。

とくに法律によって、その複製をとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

法律により複製を禁止されているもの

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券

外国紙幣、証券類

未使用郵便切手、はがき類

政府発行の印紙、税法で規定されている証券類

<関係法律>

- 通貨及証券模造取締法
- 外国に於て流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

重要

法律で禁止されている紙幣などの複製を防止するため本機には、偽造防止機能を搭載しています。

本機は偽造防止機能を搭載しているため、画像に若干のノイズが入ったり、画像データの保存が禁止されたりすることがあります。ご了承ください。

著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いて複製は禁止されています。

注意を必要とするもの

政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手に複製しないほうがよいと考えられます。

民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数を複製する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

2

マニュアルについて

2 マニュアルについて

2.1 マニュアルについて

本書では、本機の基本的な使い方や初期設定の方法を紹介しています。詳しい機能や、操作方法をお知りになりたいときは、User's Guide CD-ROM に収録されているユーザーズガイドをごらんください。

本製品を安全にお使いいただくために、ご使用の前に本書 1 章「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

2.2 マニュアル体系について

冊子マニュアル

| マニュアルの名称 | 概要 |
|----------------------|--|
| [インストレーションガイド] | 本機の設置やプリンタードライバーのインストールなど、本機を使用する際に最初に必要な事項を説明しています。 |
| [すぐに使える簡単設定ガイド] (本書) | 本機をお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しております。製品のご使用前に必ずお読みください。 また、本機の基本的な使い方や初期設定の方法を紹介しています。 |

User's Guide CD-ROM 収録のユーザーズガイド

| マニュアルの名称 | 概要 |
|-------------------------------|--|
| [ユーザーズガイド はじめにお読みください] | 本機の各部の名前、電源の ON/OFF、 操作パネル の使い方、原稿／用紙のセット方法など、はじめに知っておいていただきたいことを説明しています。 |
| [ユーザーズガイド プリント機能編] | プリンタードライバーのインストールから、基本／応用の使い方を説明しています。 |
| [ユーザーズガイド コピー機能編] | コピーのいろいろな使い方を説明しています。 |
| [ユーザーズガイド スキャン機能編] | スキャン送信の操作方法や、必要な準備を説明しています。紙文書をスキャンして、電子データに変換し、コンピューターやサーバーに送信できます。 |
| [ユーザーズガイド ファクス機能編] | ファクスの操作方法や、必要な準備を説明しています。 |
| [ユーザーズガイド PC-FAX 機能編] | PC-FAX の操作方法や、必要な準備を説明しています。コンピューターで作成した原稿データを、紙に出力することなく、そのままファクス送信できます。 |
| [ユーザーズガイド 拡張機能編] | オプションのライセンスキットの導入方法およびライセンスキットを導入することでご利用いただける機能について説明しています。 |
| [ユーザーズガイド メンテナンス／トラブルシューティング] | 消耗品の交換や、本機のお手入れのしかた、トラブルの対処方法を説明しています。 |
| [ユーザーズガイド 設定キーの説明] | 装置の設定メニュー（[ユーザー設定]、[管理者設定] 等）の設定内容を説明しています。 |
| [ユーザーズガイド 応用機能編] | Web Connection の使い方や、プリンタードライバーの手動インストール、Linux での印刷設定、認証装置の使い方など、本機の特異な使い方を説明しています。 |

2.3 User's Guide CD-ROM について

User's Guide CD-ROM は、本機に同梱されています。CD-ROM には、本機をご利用いただく際に必要なユーザーズガイドが収録されています。

トップページから、見たいユーザーズガイドのボタンをクリックしてください。ユーザーズガイドの PDF ファイルが立ち上がります。

2.3.1 動作環境

| 項目 | 説明 |
|-------------|--|
| 対応 OS | Microsoft Windows Vista (SP2) / Windows 7 (SP1)/ Windows 8/ Windows 8.1 Apple Mac OS X 10.6/10.7/10.8/10.9 |
| 対応ブラウザ * | Windows の場合 ・ Internet Explorer 7.x/8.x/9.x/10.x (デスクトップ版) /11.x (デスク トップ版) ・ Firefox 18 以降 Mac OS の場合 ・ safari 4.x/5.x/6.x/7.x |
| 必要なアプリケーション | Windows の場合 ・ Adobe Reader 9.x/10.x/11.x Mac OS の場合 ・ Adobe Reader 8.x/9.x/10.x/11.x |
| ディスプレイの解像度 | 1024 × 768 ピクセル以上 |

* JavaScript が有効になっていること

2.3.2 トップページ表示のしかた

Windows をお使いの場合

Windows Vista/7 は、コンピュータの CD-ROM ドライブに CD を入れると自動再生に関するメッセージが表示されます。[rundll32.exe] をクリックすると、トップページが表示されます。

Windows 8/8.1 は、コンピュータの CD-ROM ドライブに CD を入れると、ディスクに対して行う操作を選択するようにメッセージが表示されます。[index_win.exe] をクリックすると、トップページが表示されます。

Mac OS をお使いの場合

デスクトップ上の CD アイコン、[index.html] の順にダブルクリックするとトップページが表示されます。

2.4 本文中の表記や記号について

手順文について

✓ このチェック記号は、手順の前提となる条件を説明しています。

1 このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

→ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

本文中の記号について

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。



参考

トピックを補足する情報や、機能を使うために必要なオプションについて説明しています。



参照

トピックに関連した機能を参照できます。



関連設定

トピックに関連したどなたでも変更できる設定を紹介しています。



関連設定（管理者向け）

トピックに関連した管理者向けの設定を紹介しています。

製品やキーの名称について

| 本文中の表記 | 説明 |
|--------|--|
| [] | メッセージウィンドウのキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。 |
| 太字 | 操作パネルのキー名称、部品名称、製品名称、オプション名称などを表します。 |

アプリケーション名の表記について

本書では、アプリケーション名を以下のように表記しています。

| アプリケーション名 | 本書の表記 |
|--|----------------------------------|
| PageScope Direct Print | Direct Print |
| PageScope Web Connection | Web Connection |
| PageScope Data Administrator | Data Administrator |
| PageScope Mobile (for iPhone/iPad/Android) | Mobile (for iPhone/iPad/Android) |

3

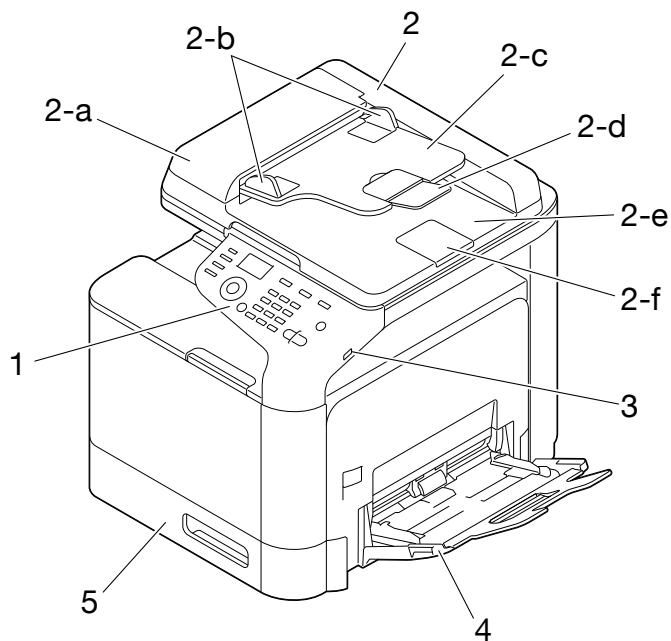
本機の概要

3 本機の概要

3.1 本機について

3.1.1 各部の名前

前面



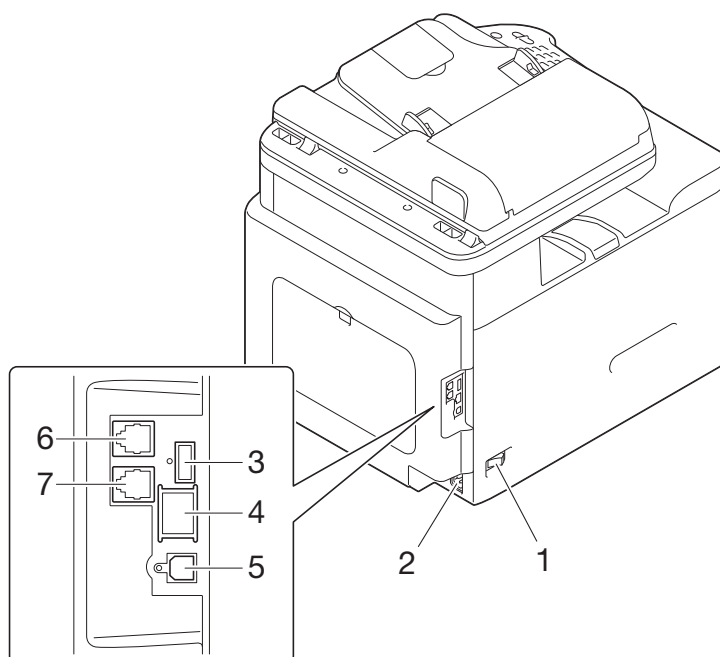
| No. | 名称 |
|-----|----------------|
| 1 | 操作パネル |
| 2 | 自動原稿送り装置 (ADF) |
| 2-a | ADF カバー |
| 2-b | ガイド板 |
| 2-c | 原稿給紙トレイ |
| 2-d | 原稿給紙補助トレイ |
| 2-e | 原稿排紙トレイ |
| 2-f | 原稿ストッパー |
| 3 | USB ホストポート |
| 4 | 手差しトレイ |
| 5 | トレイ 1 |

参考

- リーガルサイズ of 原稿を ADF で読み込む場合、原稿ストッパーを倒します。

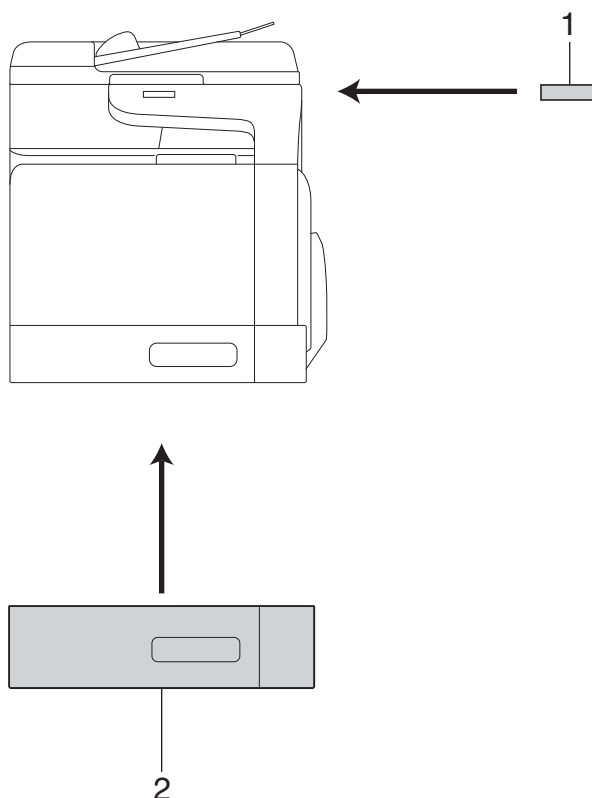
背面

本図は本体にオプションの FAX キット FK-512、取付けキット MK-P04 を装着しています。



| No. | 名称 |
|-----|--|
| 1 | 電源スイッチ |
| 2 | 電源インレット |
| 3 | USB ポート (認証装置用) |
| 4 | Ethernet(LAN) ポート (1000Base-T/100Base-TX/10Base-T) |
| 5 | USB ポート (タイプ B) |
| 6 | 回線コネクター (LINE) |
| 7 | 外付け電話機接続用コネクター (TEL) |

3.1.2 オプションの構成



| No. | 名前 | 説明 |
|--------------------------------|---------------------|---|
| 1 | 認証装置 AU-201/AU-201S | IC カードまたは NFC 対応モバイル端末（Android 端末）に記録された情報を読み取ってユーザー認証を行うことができます。 |
| 2 | 給紙ユニット PF-P14 | 500 枚までの用紙をセットできます。 |
| 以下のオプションは、本機に内蔵されるため図解してありません。 | | |
| 3 | ハードディスク HD-P06 | ハードディスクの容量を大きくし、機能を拡張できます。 |
| 4 | i-Option LK-106 | 特殊フォントの一つである、バーコードフォントを追加できます。オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。 |
| 5 | i-Option LK-107 | 特殊フォントの一つである、ユニコードフォントを追加できます。オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。 |
| 6 | i-Option LK-108 | 特殊フォントの一つである、OCR フォントを追加できます。オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。 |
| 7 | i-Option LK-111 | 拡張機能の一つである、ThinPrint 機能が使えます。 |
| 8 | FAX キット FK-512 | 本機をファクス機として使えます。 |
| 9 | 取付けキット MK-P04 | FAX キット FK-512 を設置する場合に装着します。 |
| 10 | ネットワークカード NC-P03 | 無線ネットワーク環境で本機を使用できます。 |
| 11 | 取付けキット MK-P07 | ネットワークカードを取付ける場合に必要です。 |



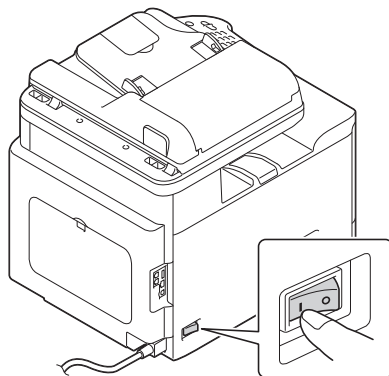
参照

i-Option のライセンスの登録方法について詳しくは、[ユーザズガイド 拡張機能編] の 2 章「ライセンスキットを登録する」をごらんください。

3.2 電源について

3.2.1 電源スイッチを ON/OFF する

- 1 電源ケーブルを本機に接続します。
- 2 電源ケーブルをコンセントに接続します。
- 3 主電源を ON にするときは、**電源スイッチの I** を押します。



起動中を表す画面が表示されます。

メイン画面が表示されたら、本機をお使いいただけます。

- 4 主電源を OFF にするときは、**電源スイッチの O** を押します。

重要

本機で印刷中に**電源スイッチ**を OFF にしたり、**電源キー**を押さないでください。紙づまりの原因となります。

本機の動作中に**電源スイッチ**を OFF にしたり、**電源キー**を押したりすると、読み込み中のデータや通信中のデータ、待機中のジョブは削除されます。

本機を再起動するときは、**電源スイッチ**を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。

3.2.2 節電モードに切替える

スキャン / スリープやコピー / 電源を長押しすることで、本機を節電モードに切替えることができます。それぞれのキーを長押したときの、本機の節電状態は次のとおりです。

| キー | 本機の状態 | スタートランプの状態 | 印刷 / ファクス受信 | 説明 |
|-------------|----------------|------------|-------------|--|
| スキャン / スリープ | スリープ | 点滅：青色 | 可能 | メッセージウィンドウのバックライトを消し、消費電力を抑えます。ファクスやプリントジョブを受信すると、スリープ状態を継続したまま印刷します。 操作パネル を操作すると、通常モードに復帰します。 |
| | ディープスリープ | 点滅：青色 | 可能 | スリープ状態よりもさらに消費電力を抑制した状態です。メッセージウィンドウの表示を完全に消します。ファクスやプリントジョブを受信すると、スリープ状態に移行して印刷を行い、その後ディープスリープ状態に戻ります。通常モードへ復帰するまでの時間は、スリープ状態から復帰するよりも長くなります。 操作パネル を操作すると、通常モードに復帰します。 |
| コピー / 電源 | ErP オートパワー OFF | 点滅：オレンジ色 | 不可能 | ディープスリープよりも高い節電効果を得られ、主電源を OFF にしたときに近い状態となります。ErP オートパワー OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度 コピー / 電源 を押します。 |



参考

出荷時の設定でお使いの場合、本機をスリープ状態に切替えると、スリープ状態よりもさらに消費電力を抑制した状態（ディープスリープ状態）へ自動的に移行します。ただし、以下の条件を満たしている場合、ディープスリープ状態への移行はできません。

- オプションの i-Option LK-111 を導入し、ThinPrint 機能を設定している場合
- オプションの認証装置を接続している場合
- オプションの FAX キット、取付けキットを装着し、次の機能を設定している場合
 [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [機能 ON/OFF 設定] - [ナンバーディスプレイ機能] を [ON] に設定している
 [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [TEL/FAX 自動切換え] を [ON] に設定している
 [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [外部電話切離し] を [ON] に設定している
 [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [着信回数設定] を [0] に設定している

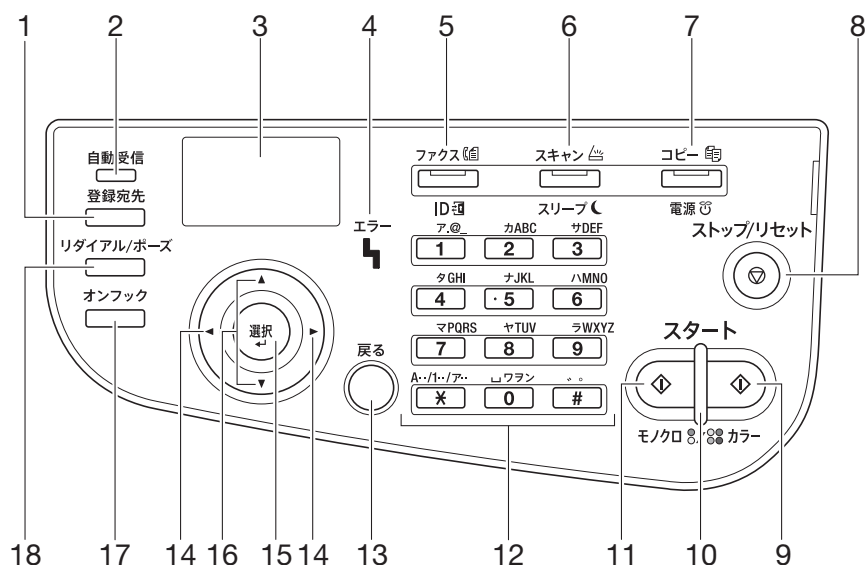


関連設定（管理者向け）

本機がスリープ状態のときに、スリープ状態よりもさらに消費電力を抑制した状態（ディープスリープ状態）への移行を行うかどうかを選べます。設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [電源 / パワーセーブ設定] - [スリープ中の消費電力]（初期値：抑制する）

3.3 操作パネルについて

本機上部にある操作パネルでは、直接本機の操作を行うことができます。また、メッセージウィンドウには本機の状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。



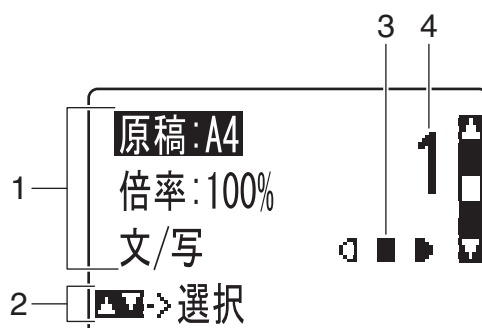
| No. | 名前 | 説明 |
|-----|-------------|---|
| 1 | 登録宛先 | 登録宛先（常用、短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先）を呼出します。 |
| 2 | 自動受信ランプ | ファクスの受信設定が自動受信に設定されているときに点灯します。 |
| 3 | メッセージウィンドウ | 設定メニュー項目やメッセージが表示されます。 |
| 4 | エラーランプ | エラー発生時に点灯します。また、サービスコール発生時に点滅します。 |
| 5 | ファクス / ID | <ul style="list-style-type: none"> ファクスモードに切替えます。ファクスモード時は、緑色に点灯します。 ユーザー認証を導入している場合、長押しをするとログイン／ログアウトします。詳しくは、[ユーザースガイド はじめにお読みください] の8章「ログイン画面について」をごらんください。 |
| 6 | スキャン / スリープ | <ul style="list-style-type: none"> スキャンモードに切替えます。スキャンモード時は、緑色に点灯します。 長押しをするとスリープ状態に切替えます。詳しくは、3-6 ページをごらんください。 |
| 7 | コピー / 電源 | <ul style="list-style-type: none"> コピーモードに切替えます。コピーモード時は、緑色に点灯します。 長押しをすると ErP オートパワー OFF 状態に切替えます。詳しくは、3-6 ページをごらんください。 |
| 8 | ストップ / リセット | 変更した設定を取消したり、機能を停止したりします。 |
| 9 | スタート（カラー） | カラーコピー、カラースキャン、ファクス送信を開始します。 |
| 10 | スタートランプ | 本機の状態をランプの色と点滅、点灯で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 青色に点灯：本機が動作を開始できる状態 青色に点滅：節電状態ですが、ファクス受信やプリントジョブを印刷できる状態 オレンジ色に点滅：節電状態のため、動作を開始できない状態 オレンジ色に点灯：本機が動作を開始できない状態 |
| 11 | スタート（モノクロ） | モノクロコピー、モノクロスキャン、ファクス送信を開始します。 |
| 12 | テンキー | 部数を入力します。また、ファクス番号、メールアドレス、名前などを入力します。 文字入力のしかたについて詳しくは、3-11 ページをごらんください。 |

| No. | 名前 | 説明 |
|-----|----------------|---|
| 13 | 戻る | <ul style="list-style-type: none">入力した文字や数値を取消します。ひとつ前の画面に戻ります。表示されている設定を取消します。 |
| 14 | ◀/▶ | カーソルを左右に移動します。 |
| 15 | 選択 | 選択されているメニュー項目を決定します。 |
| 16 | ▲/▼ | カーソルを上下に移動します。 |
| 17 | オンフック | 受話器をとった状態にします。もう一度キーを押すと受話器を置いた状態に戻ります。 |
| 18 | リダイヤル / ポーズ | <ul style="list-style-type: none">最後に宛先を直接入力で送信したファクス番号を表示します。送信するファクス番号にポーズを入れます。 |

3.4 画面の構成

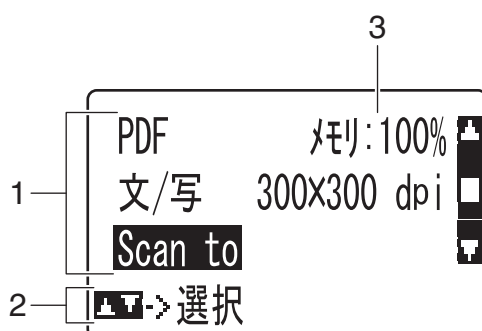
3.4.1 メイン画面について

コピーモード



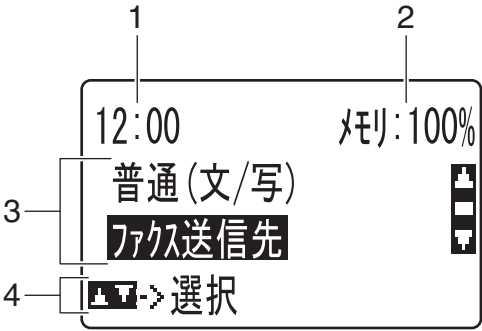
| No. | 表示 | 詳細 |
|-----|-------|---|
| 1 | コピー設定 | 現在の設定の確認や、各種設定の変更を行います。詳しくは、[ユーザーズガイド コピー機能編] をごらんください。 |
| 2 | ステータス | 使用状況に応じてメッセージが表示されます。 |
| 3 | コピー濃度 | コピー濃度を表示します。 |
| 4 | コピー枚数 | コピー枚数を表示します。 |

スキャンモード



| No. | 表示 | 詳細 |
|-----|----------|--|
| 1 | スキャン設定 | 現在の設定の確認や、各種設定の変更を行います。詳しくは、[ユーザーズガイド スキャン機能編] をごらんください。 |
| 2 | ステータス | 使用状況に応じてメッセージが表示されます。 |
| 3 | 使用可能メモリー | 使用可能なメモリー容量をパーセント（%）で表示します。 |

ファクスモード



| No. | 表示 | 詳細 |
|-----|----------|---|
| 1 | 時刻 | 現在の時刻が表示されます。 時刻の設定は、[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [日付 / 時刻設定]で行います。 |
| 2 | 使用可能メモリー | 使用可能なメモリー容量をパーセント（%）で表示します。 |
| 3 | ファクス設定 | 現在の設定の確認や、各種設定の変更を行います。詳しくは、[ユーザーズガイド ファクス機能編]をごらんください。 |
| 4 | ステータス | 使用状況に応じてメッセージが表示されます。 |

3.4.2 ヘルプ画面について

紙づまりなどのエラーが発生した時に ▶ を押すと、エラーを処理するためのヘルプ画面が表示されます。

3.5 文字入力のしかた

テンキーを使って、数字、文字、シンボルを入力します。

入力モードを変更する

操作パネルの **＊** を押すごとに、入力モードがアルファベット、数字、カタカナの順に切替わります。

| 表示 | 説明 |
|-------|--------------|
| [A…] | アルファベット入力モード |
| [1…] | 数字入力モード |
| [ア …] | カタカナ入力モード |

入力できる文字

入力できる文字は入力モードによって異なります。それぞれの入力モードで入力できる文字は以下の通りです。

| テンキー | [1…] 数字入モード | [A…] アルファベット入力モード | [ア …] カタカナ入力モード |
|------|-------------|-----------------------------|-----------------|
| 1 | 1 | .,'?!"1-()@/;:_ | アイウエオアイウエオ |
| 2 | 2 | ABC2abc | カキクケコ |
| 3 | 3 | DEF3def | サシスセソ |
| 4 | 4 | GHI4ghi | タチツテト |
| 5 | 5 | JKL5jkl | ナニヌネノ |
| 6 | 6 | MNO6mno | ハヒフヘホ |
| 7 | 7 | PQRS7pqrs | マミムメモ |
| 8 | 8 | TUV8tuv | ヤユヨャュョ |
| 9 | 9 | WXYZ9wxyz | ラリルレロ |
| 0 | 0 | (space)0 | ワヲン (スペース) |
| # | # | +&/*=!?()%[]^`´ {} \$,:; | * ° |



参考

- ファクス番号入力画面では **＊** を押すと、***** が表示されます。
- 入力した文字をすべて削除するには、**戻る** を長押しします。
- 入力した文字の 1 部を削除するには、**◀** または **▶** を押してカーソルを削除したい文字に移動させ、**戻る** を押します。
- 続けて同じキーを使って入力する場合は、最初の文字を入力した後、**▶** を押してから次の文字を入力します。
- スペースを入力する場合は、カタカナ入力モードでは **0** を 4 回、アルファベット入力モードでは **0** を 1 回押します。
- 濁点または半濁点はカタカナ入力モードで **#** を押します。

4

用紙のセット方法

4 用紙のセット方法

4.1 用紙について

4.1.1 対応する用紙の種類を確認する

| 用紙種類 | 用紙坪量 | 用紙容量 |
|-----------------------------------|---|-----------------------------|
| 普通紙 再生紙 両面不可紙 ^{*1} | 60 g/m ² ~ 90 g/m ² | 手差しトレイ：100 枚 トレイ 1：250 枚 |
| 厚紙 1 | 91 g/m ² ~ 150 g/m ² | 手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚 |
| 厚紙 2 | 151 g/m ² ~ 210 g/m ² | 手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚 |
| 光沢紙 1 | 100 g/m ² ~ 128 g/m ² | 手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚 |
| 光沢紙 2 | 129 g/m ² ~ 158 g/m ² | 手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚 |
| はがき | — | 手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚 |
| 封筒 | — | 手差しトレイ：10 枚 |
| ラベル紙 | — | 手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚 |
| レターヘッド紙 ^{*2} | — | 手差しトレイ：20 枚 トレイ 1：20 枚 |

^{*1} 両面に印刷したくない用紙（すでに 1 面に印刷がされている用紙など）。

^{*2} あらかじめ社名や定型文などが印刷された用紙。

重要

普通紙以外の用紙を専用紙と呼びます。給紙トレイに専用紙をセットした場合、用紙の種類を正しく設定してください。正しく設定しないと、紙づまりや画像不良の原因となります。



参考

本機の「レターヘッド両面印刷」で、レターヘッド紙への両面印刷を許可するかどうかを設定できます（初期値：[禁止]）。レターヘッド紙への両面印刷を許可する場合、用紙種類が普通紙のレターヘッド紙を使用してください。

4.1.2 対応する用紙サイズを確認する

| 給紙口 | 通紙可能サイズ |
|--------|---|
| 手差しトレイ | A4、A5、A6、B5 (JIS)、B6 リーガル (8-1/2 × 14)、レター (8-1/2 × 11)、SP Folio (8-1/2 × 12-11/16)、エグゼクティブ (7-1/4 × 10-1/2)、Invoice (5-1/2 × 8-1/2) Foolscap (8 × 13)、8-1/8 × 13-1/4、Folio (8-1/4 × 13)、G. リーガル (8-1/2 × 13)、8-1/2 × 13-1/2、16K、Kai 16、Kai 32 はがき (100 mm × 148 mm)、往復はがき (148 mm × 200 mm) Photo Size 10 × 15 封筒 #10、洋形 6 号、封筒 DL、洋形 2 号、長形 3 号、長形 4 号 B5 (ISO)、UK Quarto (8 × 10)、G. レター (8 × 10-1/2) 幅：92.0 mm ～ 215.9 mm、長さ：148.0 mm ～ 355.6 mm |
| トレイ 1 | A4、A5、A6、B5 (JIS)、B6 レター (8-1/2 × 11)、エグゼクティブ (7-1/4 × 10-1/2)、Invoice (5-1/2 × 8-1/2)、G. リーガル (8-1/2 × 13) 16K、Kai 16、Kai 32、はがき (100 mm × 148 mm)、往復はがき (148 mm × 200 mm) Photo Size 10 × 15 UK Quarto (8 × 10)、G. レター (8 × 10-1/2) 幅：92.0 mm ～ 215.9 mm、長さ：148.0 mm ～ 297.0 mm |



参考

- すべての用紙サイズで、プリント時は用紙の端から 4.2 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。
- 封筒では、表面（宛先面）への印刷のみが可能です。また、（表面の）封の重なる部分への印刷結果は保証されません。保証されない領域の大きさは、封筒の種類によって異なります。
- ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためには、不定形サイズ設定で本機の印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。
- 不定形サイズは上の表の数値の範囲でプリンタードライバーから設定してください。
- トレイ 1 で不定形サイズ用紙を使用する場合、幅が 210 mm を超え、長さが 279 mm を超える用紙は、トレイの構造上、用紙後端がたわんだ状態でセットされます。（最大長さ 297 mm）これらの不定形サイズ用紙をご利用になる場合は、手差しトレイを使用するか、トレイ 1 で 100 枚以内の枚数で使用してください。
- Mac OS X をお使いの場合、両面印刷可能な手差しトレイの最大サイズは、幅が 216 mm、長さが 355 mm となります。

4.1.3 使用上のご注意

使用できない用紙

以下のような用紙はセットしないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターで印刷された用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面がー様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙、アイロンプリント紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステーブル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙
- 表と裏で紙質（粗さ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

用紙の保管のしかた

用紙を保管するときは、以下の点にご注意ください。

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。包装紙に入らずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。
- 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
 - 湿気が多い場所
 - 直射日光が当たる場所
 - 高温の場所（35℃以上の場所）
 - ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。



参考

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

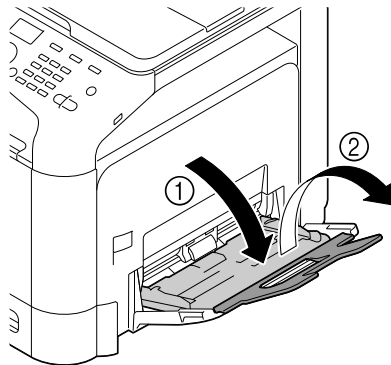
4.2 手差しトレイにセットする

他の給紙トレイにセットされていないサイズ of 用紙に印刷したいときに、手差しトレイを使います。

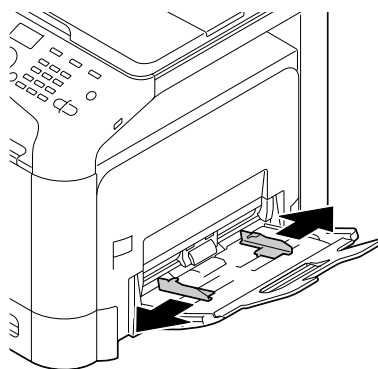
手差しトレイを使う場合は、用紙のセットと、用紙種類の設定が必要です。

✓ 対応する用紙の種類とサイズについて詳しくは、4-2 ページをごらんください。

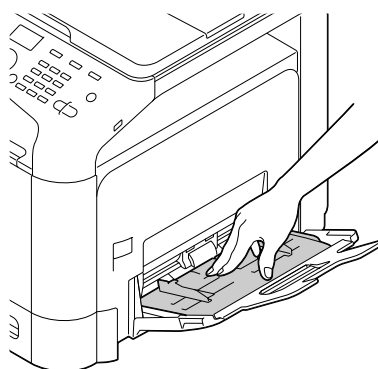
1 手差しトレイを開きます。



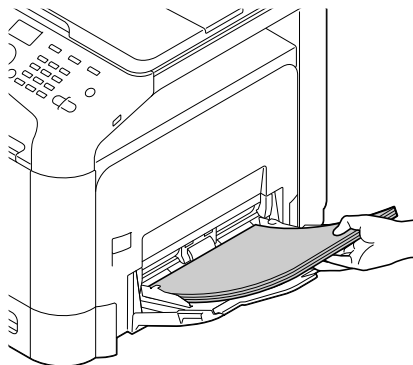
2 用紙ガイドを広げます。



3 押し上げ板の中央付近を左右のロック爪（白色）がロックするまで押し下げます。



- 4 印刷したい面を下向きにし、用紙の先端を奥まで差込んでセットします。
- レターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文などが印刷された面を下向きにしてセットしてください。
 - 本機の〔レターヘッド両面印刷〕で、レターヘッド紙への両面印刷を許可する場合、レターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文のある面を上向きにしてセットしてください。



重要

用紙は上限を示すガイドを超えないようにセットしてください。

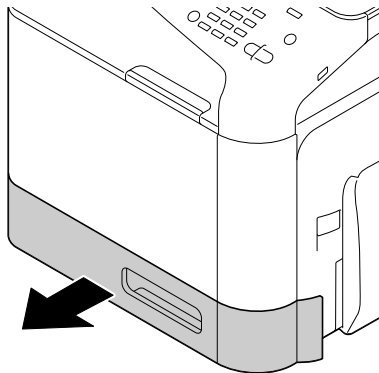
用紙がカールしている場合は、伸ばしてからセットしてください。

- 5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。
- 6 操作パネルから用紙の種類とサイズの設定を変更します。また、不定形サイズ of 用紙をセットした場合は、用紙サイズも指定します。
- 設定するには：〔設定メニュー〕 - 〔用紙設定〕 - 〔手差し〕

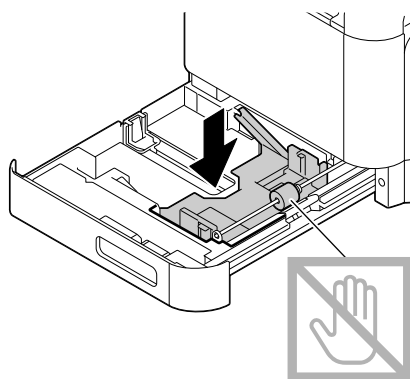
4.3 トレイ 1 にセットする

- ✓ 対応する用紙の種類とサイズについて詳しくは、4-2 ページをごらんください。
- ✓ トレイ 2 は、オプションの給紙ユニットを装着している場合に利用できます。トレイ 2 に用紙をセットする方法について詳しくは、[ユーザーズガイド はじめにお読みください] の 6 章「用紙をセットする」をごらんください。

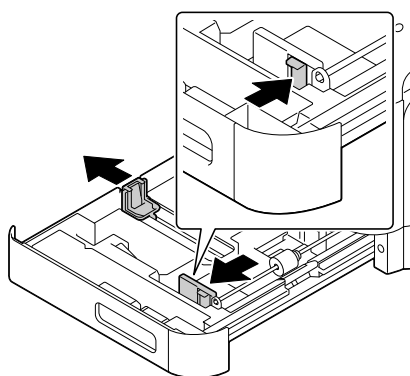
- 1 トレイ 1 を引出します。



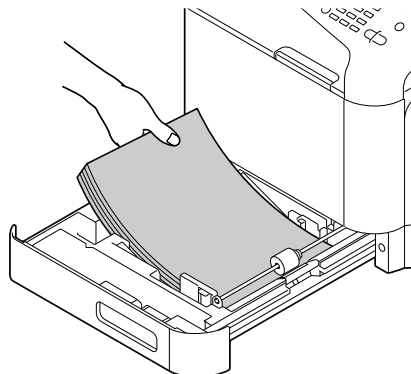
- 2 押し上げ板をロックするまで押し下げます。



- 3 用紙ガイドを広げます。



- 4 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。
- はがき、往復はがきは、短辺（長さの短い方）をトレイの右側へ向けてセットします。
 - レターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文などが印刷された面を上向きにしてセットしてください。
 - 本機の「レターヘッド両面印刷」で、レターヘッド紙への両面印刷を許可する場合、レターヘッド紙をセットするときは、社名や定型文のある面を下向きにしてセットしてください。



重要

用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

用紙がカールしている場合は、伸ばしてからセットしてください。

- 5 用紙サイズに用紙ガイドを合わせます。
- 6 トレイ 1 を閉じます。
- 7 操作パネルから用紙の種類とサイズの設定を変更します。また、不定形サイズ of 用紙をセットした場合は、用紙サイズも指定します。
- 設定するには：[設定メニュー] - [用紙設定] - [トレイ 1]

5

本機の初期設定

5 本機の初期設定

5.1 ネットワーク接続の準備（管理者向け）

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、ネットワークに接続された LAN ケーブルが接続されていることを確認します。
ケーブルの接続箇所について詳しくは、3-3 ページをごらんください。

IP アドレスを割当てる

本機に固定の IP アドレスを用意している場合は、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイのアドレスを、手動で入力します。

操作パネルの [設定メニュー] - [管理者設定] - [ネットワーク設定] - [TCP/IP 設定] - [IPv4 設定] で、次の設定をします。

| 設定 | 説明 |
|---------------|--|
| [IP アドレス] | IP アドレスを手動設定する場合に、本機に用意した固定 IP アドレスを入力します。 |
| [サブネットマスク] | IP アドレスを手動設定する場合に、サブネットマスクを入力します。 |
| [デフォルトゲートウェイ] | IP アドレスを手動設定する場合に、デフォルトゲートウェイを入力します。 |
| [IP 確定方法] | IP アドレスを自動設定する場合に、自動取得の方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none">・ [DHCP 設定]：初期値は [ON] です。・ [BOOTP 設定]：初期値は [OFF] です。・ [ARP/PING 設定]：初期値は [OFF] です。・ [AUTO IP 設定]：[有効] 固定です。 |



参考

本機に割当てられた IP アドレスを確認するときは、設定情報リストを印刷します。設定情報リストは、メイン画面の [レポート / ステータス] - [レポート] - [設定情報リスト] から印刷できます。

5.2 ファクスの準備（管理者向け）

モジュラーケーブルの接続を確認する

本機の LINE ポートに、電話回線に接続されたモジュラーケーブルが接続されていることを確認します。
ケーブルの接続箇所については、3-3 ページをごらんください。

お使いの電話回線の種類を指定する

本機を接続する電話回線の種類（ダイヤル方式）を指定します。ダイヤル方式が誤っていると通信できないため、正しく設定する必要があります。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [ダイヤル方式]

構内回線（PBX）環境で使うための準備をする

構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、外線番号を登録します。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [PBX 接続設定]

ファクスの受信方法を選ぶ

ファクスの受信方法には、本機が自動で受信する方法や、ユーザーが手動で受信する方法などがあります。お使いの環境に合わせて、受信方法を設定します。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [受信方式]

発信元情報を登録する

本機の名前や会社名（発信元名）と、本機のファクス番号を登録します。

登録した情報は、送信するファクスに付加され、送信先で印刷されたファクスに発信元記録として印字されます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [発信元 / ファクス ID 登録]

本機の日時を設定する

送受信するファクスに日時を付加するため、本機の日時を設定します。設定した日時は、時刻を指定して通信するタイマー通信の基準時刻になります。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [日付 / 時刻設定]

5.3 ハードディスク（HDD）の設定（管理者向け）

本機のハードディスクに保存されるデータを暗号化して保護したい場合は、ハードディスクの暗号化の設定を行います。

ハードディスクの暗号化の設定を行うとハードディスクのフォーマットが行われるため、ハードディスク内に保存されているデータが消去されます。そのため、本機をお使いになる前に、ハードディスクの暗号化の設定を済ませておくことをおすすめします。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [HDD 管理設定] - [HDD 暗号化設定]



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。



関連設定（管理者向け）

セキュリティ強化モードを有効にして本機を使用する場合は、ハードディスクの暗号化の設定を行う必要があります。セキュリティ強化モードについて詳しくは、[ユーザーズガイド 設定キーの説明] の 6 章「管理者設定」の「セキュリティ強化設定」の説明をごらんください。

6

基本的な使い方

6 基本的な使い方

6.1 プリント機能を使う（Windows 環境の場合）

本書では、Windows 環境で印刷するための設定方法を説明します。



参照

Mac OS 環境で印刷するための設定方法について詳しくは、[ユーザーズガイド プリント機能編] の 3 章「Mac OS 環境で印刷する」をごらんください。

Linux 環境で印刷するための設定方法について詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 5 章「Linux 環境で印刷する」をごらんください。

6.1.1 プリンタードライバーについて

プリンターとして本機をお使いいただくためには、コンピューターにプリンタードライバーのインストールが必要です。

プリンタードライバーには、次の種類があります。印刷の用途に合わせて選んでください。

| プリンタードライバー | ページ記述言語 | 説明 |
|------------|------------------------|---|
| PCL ドライバー | PCL6 | オフィスで作成する一般的な原稿を印刷する場合に、標準的に利用できるドライバーです。3つのドライバーの中でもっとも速く印刷できます。 |
| PS ドライバー | PostScript 3 Emulation | Adobe などの PS 対応のアプリケーションソフトウェアで作ったデータを忠実に印刷したいときに効果を発揮します。グラフィックや軽印刷などの色再現性を重視する分野でよく使われています。 |
| XPS ドライバー | XPS | Windows Vista 以降に登場した XML Paper Specification (XPS) 対応ドライバーです。半透明が高品質に再現できるなどのメリットがあります。 |

6.1.2 印刷の準備（ネットワーク接続）

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、LAN ケーブルが接続されていることを確認します。

ケーブルの接続箇所について詳しくは、3-3 ページをごらんください。

ネットワーク設定を確認する

設定リストを印刷し、本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。

設定リストは、メイン画面の [レポート / ステータス] - [レポート] - [設定情報リスト] から印刷します。



参照

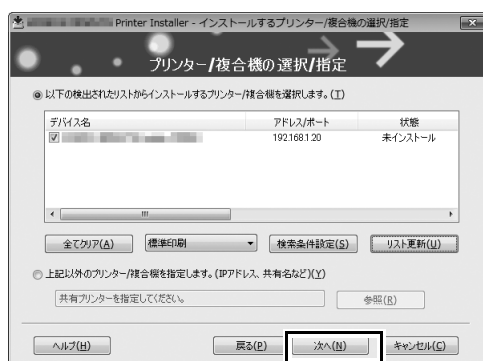
IP アドレスが表示されていない場合は、ネットワーク設定が必要です。詳しくは、5-2 ページをごらんください。

プリンタードライバーをインストールする

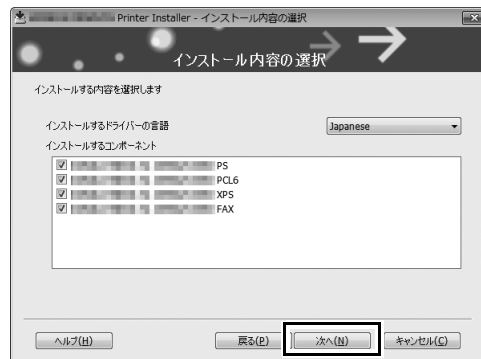
インストーラーを使って、お使いのコンピュータにプリンタードライバーをインストールします。

- ✓ この作業を行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- ✓ CD-ROM は Driver & Utilities CD-ROM を使います。

- 1 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
 - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 2 [プリンター／ファクス] をクリックします。
- 3 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。
- 4 [お読みください] 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。
- 5 [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。
 接続されているプリンターが検出されます。
 - Windows Vista/7/8/8.1/Server 2008/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[IPv4 優先] / [IPv6 優先] を選べます。IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、優先するアドレスになります。
- 6 本機を選び、[次へ] をクリックします。
 - 本機が検出されない場合は、本機を再起動してください。
 - 印刷方法は、管理者から特に指定がない場合は、[標準印刷] (Port 9100) から変更する必要はありません。本書では、[標準印刷] (Port 9100) の設定方法を説明します。
 - 印刷方法は、[標準印刷] のほか、[インターネット印刷] (IPP) や [セキュリティ印刷] (IPPS) を選べます。印刷方法について詳しくは、[ユーザーズガイド プリント機能編] の 2 章「Windows 環境で印刷する」をごらんください。
 - 接続されているプリンターのうち、対象機種だけを自動検出して表示します。複数台の対象機種が表示される場合は、IP アドレスで確認してください。
 - 本機の接続が認識できないときは、リストに表示されません。この場合は、[上記以外のプリンター / 複合機を指定します。 (IP アドレス、共有名など)] (Y) を選び、手動で本機の IP アドレスやホスト名を指定してください。



- 7 インストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
→ 各プリンタードライバーの特長については、6-2 ページをごらんください。



- 8 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。
9 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。
以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

| 設定 | 説明 |
|--------------|---------------------------------------|
| [内容確認] | インストール内容を確認できます。 |
| [プリンター名の変更] | 必要に応じて、本機の名前を変更します。 |
| [プリンタープロパティ] | 本機のオプション環境などの設定をします。 |
| [印刷設定] | 必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。 |
| [テストページ印刷] | 正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。 |

参照

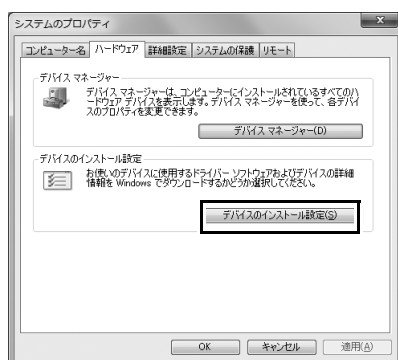
プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。詳しくは、6-8 ページをごらんください。

6.1.3 印刷の準備 (USB 接続)

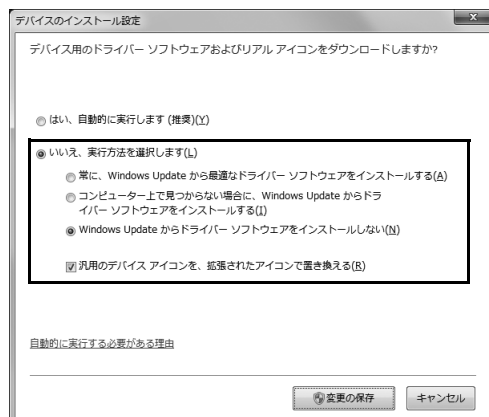
インストール設定を変更する (Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2)

Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 をお使いの場合は、プリンタードライバをインストールする前に、コンピュータの設定を変更します。

- 1 [コントロール パネル] ウィンドウを開きます。
 - Windows 8.1 の場合は、スタート画面で [⬇] をクリックし、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
 - Windows 8 の場合は、スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コントロール パネル] をクリックします。
 - Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、スタート画面で [コントロール パネル] をクリックします。
 - Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] をクリックします。
- 2 [システムとセキュリティ] - [システム] をクリックします。
- 3 左側のメニューにある [システムの詳細設定] をクリックします。
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- 4 [ハードウェア] タブの [デバイスのインストール設定] をクリックします。



- 5 [いいえ、実行方法を選択します] を選んでから [Windows Update からドライバーソフトウェアをインストールしない] を選び、[変更の保存] をクリックします。
 - プリンタードライバのインストール後は、[はい、自動的に実行します (推奨)] に戻してください。



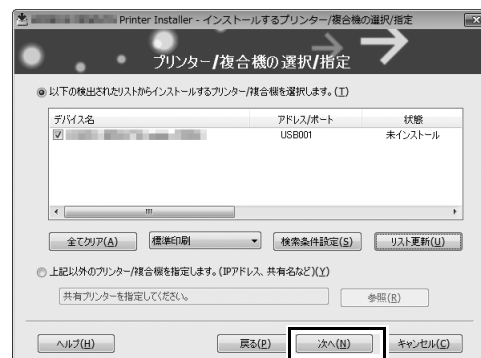
- 6 [OK] をクリックし、[システムのプロパティ] 画面を閉じます。

プリンタードライバーをインストールする

インストーラーを使って、お使いのコンピュータにプリンタードライバーをインストールします。

- ✓ この作業を行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- ✓ CD-ROM は Driver & Utilities CD-ROM を使います。

- 1 本機の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。
 - ケーブルの接続箇所について詳しくは、3-3 ページをごらんください。
 - 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
- 2 プリンタードライバーの CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 3 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて [Setup.exe] をダブルクリックし、手順 4 へ進みます。
 - [ユーザー アカウント制御] に関する画面が表示されるときは、[続行] または [はい] をクリックします。
- 3 [プリンター/ファクス] をクリックします。
- 4 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。
- 5 [お読みください] 画面の内容を確認し、[次へ] をクリックします。
- 6 [プリンターのインストール] を選び、[次へ] をクリックします。
USB 接続されているプリンターが検出されます。
- 7 本機を選び、[次へ] をクリックします。



- 8 インストールしたいプリンタードライバーにチェックをつけ、[次へ] をクリックします。
 - 各プリンタードライバーの特長については、6-2 ページをごらんください。



- 9 インストール内容を確認し、[インストール] をクリックします。

10 必要に応じて、プリンター名の変更やテストページを印刷し、[完了] をクリックします。

以上で、プリンタードライバーのインストールの完了です。

| 設定 | 説明 |
|--------------|---------------------------------------|
| [内容確認] | インストール内容を確認できます。 |
| [プリンター名の変更] | 必要に応じて、本機の名前を変更します。 |
| [プリンタープロパティ] | 本機のオプション環境などの設定をします。 |
| [印刷設定] | 必要に応じて、本機の印刷設定の初期値を変更します。 |
| [テストページ印刷] | 正常に印刷できるかを確認するため、必要に応じて、テストページを印刷します。 |



参照

プリンタードライバーのインストールが完了したら、プリンタードライバーの初期設定を行ってください。詳しくは、6-8 ページをごらんください。

6.1.4 プリンタードライバーの初期設定

はじめてお使いになるときは、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを、プリンタードライバーに設定します。

1 プリンターのウィンドウを表示します。

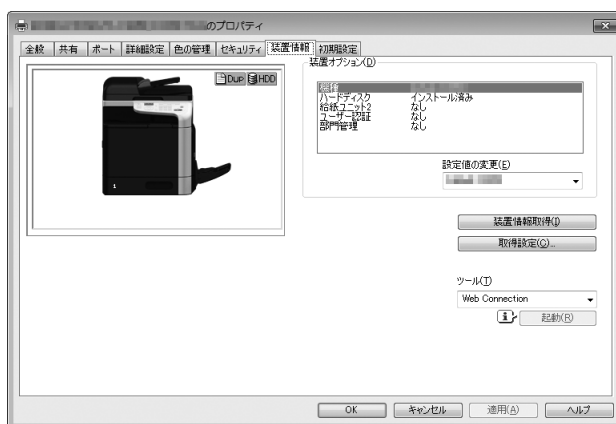
- Windows 8.1 の場合は、スタート画面で [⬇] をクリックし、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 8 の場合は、スタート画面を右クリックし、[すべてのアプリ] - [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、スタート画面で [コントロール パネル] - [ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] をクリックします。
- Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、スタートメニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows Vista/Server 2008 の場合は、スタートメニューから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] をクリックします。
- Windows Server 2003 の場合は、スタートメニューから [プリンタと FAX] をクリックします。

2 プリンターのプロパティを開きます。

- Windows 7/8/8.1/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] から、表示されるプリンター名をクリックします。
 - Windows Vista/Server 2003/Server 2008 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックして [プロパティ] をクリックします。
- [プロパティ] 画面が表示されます。

3 [装置情報] タブで、本機のオプションの装着状態や認証設定の有無などを設定します。

- 初期設定では、[取得設定 ...] の [自動取得] が有効になっていますので、自動的に本機の情報取得され、[装置オプション] に反映されます。
- [取得設定 ...] の [自動取得] を無効にしている場合は、[装置情報取得] をクリックすると、本機の情報取得して [装置オプション] に反映します。
- 本機と通信できない場合や、Windows Server 2003 環境で USB 接続してお使いの場合は、[装置オプション] から手動で設定します。変更する項目を一覧から選び、[設定値の変更] から設定値を選びます。

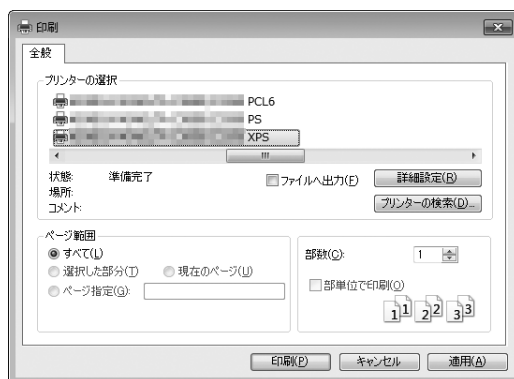


4 [OK] をクリックします。

6.1.5 印刷のしかた

- 1 アプリケーションソフトウェアで原稿データを開き、[ファイル] メニューから [印刷] をクリックします。
- 2 [プリンター名] (または [プリンターの選択]) で、印刷したいプリンターが選ばれていることを確認します。

→ [印刷] 画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。



- 3 印刷するページ範囲や部数を指定します。
- 4 必要に応じて、[プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、プリンタードライバーの印刷設定を変更します。
 - ここで変更した印刷設定は、アプリケーションソフトウェアを終了すると変更前の状態 (初期値) に戻ります。
 - プリンタードライバーの印刷設定について詳しくは、[ユーザズガイド プリント機能編] の2章「Windows 環境で印刷する」をごらんください。
- 5 [印刷] をクリックします。
印刷が実行されます。

6.2 スキャン送信機能を使う

6.2.1 スキャン送信機能でできること

本機で読込んだ原稿データは、コンピューターやサーバーへ送信したり、本機のハードディスクに保存したりできます。

スキャン送信機能には、次の種類があります。

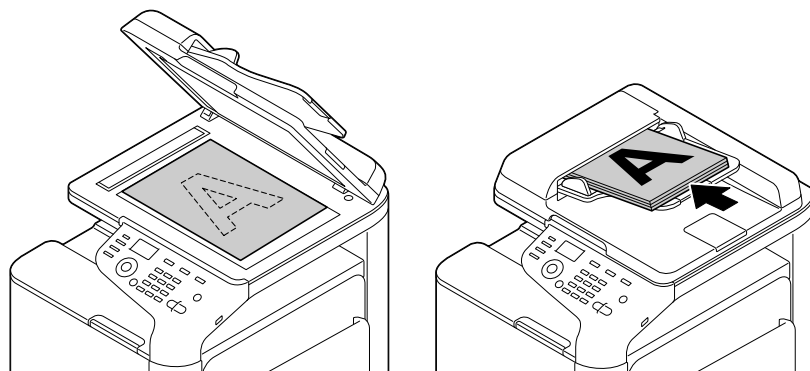
| 機能 | 説明 |
|----------------|---|
| E-mail 送信 | 変換したファイルを E-mail に添付して、任意のメールアドレスに送信します。 |
| SMB 送信 | 変換したファイルをコンピューターの共有フォルダーへ送信します。送信先を自分のコンピューターやファイルサーバーなどにして使います。 |
| FTP 送信 | 変換したファイルを FTP サーバーへ送信します。FTP サーバーを通じてファイルの受渡しをするときに便利です。 |
| HDD 保存 | 本機で読込んだ原稿データを本機内蔵のハードディスクに保存します。ハードディスクに保存した原稿データは、コンピューターで Web ブラウザーを使ってダウンロードできます。 目 ひとこと オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。 |
| USB メモリー保存 | 本機で読込んだ原稿データを本機に接続した USB メモリーに保存します。 |
| WS スキャン | 面倒な環境設定をすることなく、コンピューターからスキャンの指示をして原稿データを取込んだり、本機でスキャンした原稿データをコンピューターに送信したりできます。 Vista 以降の Windows コンピューターで対応しています。 |
| TWAIN/WIA スキャン | ネットワーク上のコンピューターから、TWAIN/WIA に対応した各種アプリケーションを通じて、本機で読込んだ原稿データをファイルに変換して取込みます。 |

参照

スキャン送信機能を使うには、あらかじめ設定が必要な場合があります。各機能の使い方について詳しくは、[ユーザズガイド スキャン機能編] をごらんください。

6.2.2 送信のしかた

- 1 原稿をセットします。



- 2 スキャンを押します。

- 3 宛先を指定します。

- E-mail 送信を行う場合は、あらかじめ登録しておいた宛先から選択したり、宛先情報を直接入力したりできます。宛先の登録のしかたについて詳しくは、6-19 ページをごらんください。
- SMB 送信、FTP 送信を行う場合は、あらかじめ宛先の登録が必要です。宛先は **Web Connection** でのみ登録できます。登録のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。

- 4 スキャン送信のオプション設定をします。

- メイン画面（スキャンモード）で、▲/▼を押して、変更する設定を選びます。

- 5 スタートを押します。

- カラーで読み込む場合は、**スタート（カラー）**を押します。モノクロで読み込む場合は、**スタート（モノクロ）**を押します。
- 原稿の読み込み中に**ストップ/リセット**を押すと、読み込みが停止され、ジョブをキャンセルするかどうかの確認画面が表示されます。送信を中止したい場合は、ジョブのキャンセルを行ってください。

送信が開始されます。

6.3 ファクス機能を使う

6.3.1 ファクス機能について

ファクスは、電話回線を使って、読込んだ原稿（紙の原稿）の送信や送られてきたデータの受信を行う通信機能です。本機には、ファクスに関するさまざまな機能が備わっており、原稿に合わせて読込みの設定を変更したり、受信したファクスをメモリーに保存したりすることができます。

ファクス使用時の注意は以下のとおりです。

- ファクス機能を利用するには、オプションの FAX キット、取付けキットが必要です。
- 本機を接続できる電話回線は以下のとおりです。
 - 加入電話回線（ファクス通信網を含む）
 - PBX（構内交換機 2 線式）
- カラーでのファクス通信はできません。
- 外部電話としてビジネスホンは接続できません。
- キャッチホンは併用できません。
- お客様がお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクス通信の伝送速度が制限されたり、スーパー G3 による通信ができなくなる可能性があります。
- ごくまれに、工場出荷時の設定で通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域を限界まで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様のネットワーク管理者にお問い合わせください。

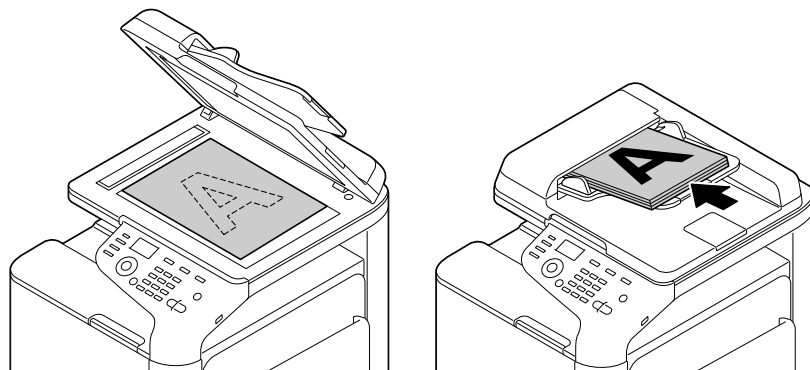


参照

ファクス機能を使用するには、あらかじめ本機で使用環境の設定が必要です。詳しくは、5-3 ページをらんください。

6.3.2 送信のしかた

- 1 原稿をセットします。



- 2 ファクスを押します。

- 3 ファクス番号を指定します。

- あらかじめ登録しておいた宛先から選択したり、宛先情報を直接入力したりできます。宛先の登録のしかたについて詳しくは、6-19 ページをごらんください。
- 複数の宛先を指定することで、ファクスの同報送信ができます。

- 4 ファクス送信のオプション設定をします。

- メイン画面（ファクスモード）で、▲/▼を押して、変更する設定を選びます。

- 5 スタートを押します。

- 原稿の読み込み中にストップ/リセットを押すと、読み込みが停止され、ジョブをキャンセルするかどうかの確認画面が表示されます。送信を中止したい場合は、ジョブのキャンセルを行ってください。

送信が開始されます。

6.3.3 ファクス送信機能の紹介

ここでは、便利なファクス送信機能を紹介します。各機能の使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド ファクス機能編] の 4 章「こんな送信のしかたがあります」をごらんください。

| 機能 | 概要 |
|------------|---|
| タイマー通信 | 通信を開始する時刻を設定しておく、指定した時刻に自動的に通信を開始する機能です。 |
| 宛先確認送信 | ファクス送信に指定したファクス番号と、送信先のファクス番号情報 (CSI) とを照合し、一致した場合にファクスを送信する機能です。 |
| F コード送信 | F コード (SUB アドレス、送信 ID) を指定して送信する機能です。親展通信と中継配信依頼ができます。 <ul style="list-style-type: none"> 親展通信は、登録番号やパスワードが必要な親展受信ボックスを使って、特定の相手とだけ通信する機能です。 中継配信依頼は、1 通のファクスを中継機に送信すると、受信した中継機が、あらかじめ登録してあるグループ宛先に受信したファクスを配信する機能です。 |
| クイックメモリー送信 | 原稿を 1 ページ読取ると同時にファクス送信を開始する機能です。発信元記録に総ページ数を入れることもできます。 |
| ポーリング送信 | 受信側からの受信指示 (ポーリング指示) で送信するファイルを、あらかじめ内蔵ハードディスクに蓄積 (登録) しておく機能です。 |

6.3.4 ファクス受信機能の紹介

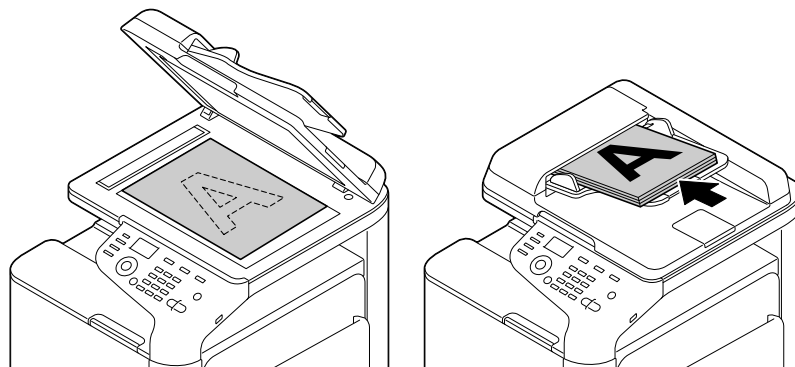
ここでは、便利なファクス受信機能を紹介します。各機能の使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド ファクス機能編] の 6 章「こんな受信のしかたがあります」をごらんください。

| 機能 | 概要 |
|-----------|--|
| 転送ファクス | 受信したファクスを、あらかじめ設定しておいた宛先 (ファクス宛先、E-mail 宛先) へ転送する機能です。 |
| 強制メモリー受信 | 受信したファクスを印刷せずに本機のメモリーに保存する機能です。 |
| ポーリング受信 | 送信元でポーリング用に登録されているファイルを、本機から指示して受信する機能です。 |
| PC-FAX 受信 | 受信したファクスをメモリーに保存する機能です。保存されたファクスは、印刷やダウンロードができます。 |
| 夜間受信 | あらかじめ設定した夜間時間帯に受信したファクスの印刷を禁止する機能です。 |

6.4 コピー機能を使う

6.4.1 コピーのしかた

- 1 原稿をセットします。



- 2 コピーを押します。
- 3 必要に応じて、コピーの各種設定をします。
 - メイン画面（コピーモード）で、▲/▼を押して、変更する設定を選びます。
- 4 必要に応じて、テンキーで部数を指定します。
 - 部数の入力をやり直したいときは、戻るを押します。
- 5 スタートを押します。

原稿が読み込まれ、コピーが開始されます。

 - カラーでコピーする場合は、スタート（カラー）を押します。モノクロでコピーする場合は、スタート（モノクロ）を押します。
 - ストップ/リセットを押すと、ジョブをキャンセルするかどうかの確認画面が表示されます。コピーを中止したい場合は、ジョブのキャンセルを行ってください。

6.4.2 コピー機能の紹介

ここでは、便利なコピー機能を紹介します。各機能の使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド コピー機能編] をごらんください。

| 機能 | 概要 |
|-------------------|---|
| [原稿サイズ] | 読込む原稿のサイズを選びます。 |
| [倍率] | 原稿画像を任意の倍率で拡大または縮小してコピーします。 |
| [原稿画質] - [原稿種類] | 原稿の記載内容に適した設定を選び、最適な画質でコピーします。 |
| [原稿画質] - [濃度] | コピー画像の濃淡を調整します。 |
| [原稿画質] - [下地調整] | 新聞紙や再生紙でできた原稿など、下地に色が付いている原稿の下地の濃度を調整します。 |
| [原稿画質] - [シャープネス] | 画像のエッジ部分を強調させて読みやすくします。ガタガタした輪郭を滑らかにしたり、ぼやけた輪郭をくっきりさせたりします。 |
| [給紙トレイ選択] | 給紙トレイを指定してコピーします。 |
| [原稿>出力] | 片面原稿を用紙の両面にコピーしたり、両面原稿を両面、または片面にコピーしたりします。 |
| [ID カードコピー] | 保険証、免許証、名刺などの各種カードをコピーするとき、簡単な操作で、1 枚の用紙の同じ面にカードの表裏を並べてコピーできます。用紙の使用量の節約にもなります。 |
| [仕上り] | 複数の部数をコピーするときに、排紙する順番をソートにするかグループにするかを選びます。 |
| [集約] | また、複数のページを 1 枚の用紙の同じ面に縮小してコピーします。 |
| [連続読み込み] | 原稿の枚数が多く、1 度のセットで ADF に載せきれない場合でも、原稿を数回に分けて読んで、1 つのジョブとして扱えます。 |

6.5 USB メモリー内のファイルを印刷する



参考

オプションのハードディスクを装着している場合に利用できます。

対応する USB メモリー

本機に接続できる USB メモリーの仕様は次のとおりです。

| 項目 | 仕様 |
|----------|--|
| 対応メディア | USB メモリー (USB2.0 対応) |
| ファイルシステム | FAT32 |
| ファイル形式 | PDF、コンパクト PDF、JPEG、TIFF、XPS、コンパクト XPS、OOXML (.docx/.xlsx/.pptx)、PPML (.ppml/.vdx/.zip) |



参考

本機に USB メモリーを接続するときは次の点にご注意ください。

- 操作パネル近くの側面にある USB コネクタを使用してください。
- USB メモリーへの保存中や USB メモリー内のファイルの印刷中には、USB メモリーを抜かないでください。
- USB メモリー以外の USB 機器（ハードディスク、USB ハブなど）は使用しないでください。
- 本機の起動中に USB メモリーの抜き差しを行わないでください。
- USB メモリーを差込んだ直後に抜かないでください。

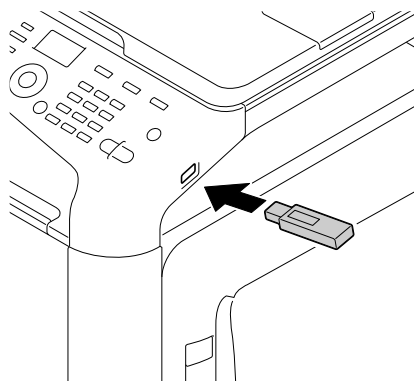


参考

暗号化された PDF ファイルは印刷できません。

印刷のしかた

- 1 本機に USB メモリーを接続します。



- 2 メイン画面（コピーモード）で ▲/▼ を押して、[USB/HDD] を選び、**選択**を押します。
- 3 [外部メモリ] を選び、**選択**を押します。
- 4 [ファイルリスト] を選び、**選択**を押します。
 - JPEG、TIFF ファイルを表示する場合は、[ファイルの種類] で [PDF,XPS,JPEG,TIFF] を選びます。
- 5 印刷したいファイルを選び、**選択**を押します。
 - 印刷したいファイルがフォルダー内にある場合は、フォルダーを選びます。
 - フォルダーとファイルを合わせて、99 個まで表示できます。
 - 7 階層以上のフォルダーは、表示できません。

6 必要に応じて、用紙サイズ、両面印刷、印刷部数、部単位印刷の設定を変更します。

| 設定 | 説明 |
|---------|--|
| [用紙サイズ] | 印刷する用紙のサイズを選びます。選択したファイルの形式が、TIFF または JPEG の場合に設定できます。 |
| [両面印刷] | 用紙の片面に印刷するか、両面に印刷するかを選びます。両面に印刷する場合は、開き方向を選びます。 |
| [印刷部数] | 印刷する部数を設定します。 |
| [部単位印刷] | 複数部を印刷する場合、「12345」、「12345」、「12345」のように 1 部ずつ区別して排紙するかどうかを選びます。 |

7 スタートを押します。

→ カラーで印刷する場合は、**スタート（カラー）**を押します。モノクロで印刷する場合は、**スタート（モノクロ）**を押します。

印刷が開始されます。

6.6 宛先を登録する

短縮宛先について

よく送信する宛先を本機に登録することで、送信のたびに宛先を入力する手間が省けます。本機に登録した宛先を、短縮宛先と呼びます。

短縮宛先は、250 件まで登録できます。



参照

SMB 送信、FTP 送信の宛先は Web Connection でのみ登録できます。登録のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。

ファクス宛先を登録する

宛先とするファクス番号を登録します。

- 1 [設定メニュー] - [宛先登録] - [ファクス] を選び、**選択**を押します。
- 2 登録する短縮ダイヤル番号をテンキーで入力し、**選択**を押します。
- 3 [登録名] を入力し（半角 72 文字／全角 10 文字以内）、**選択**を押します。
- 4 [常用]（よく送信する宛先）に設定する場合は [はい] を選び、**選択**を押します。
- 5 宛先とするファクス番号を入力し、**選択**を押します。
 - 使用できるキーは、番号キー（0～9）、#、* です。
 - リダイヤル / ポーズを押すと、ポーズを挿入できます。ポーズを挿入すると、メッセージウィンドウに [P] と表示されます。
 - 構内回線 (PBX) 環境でお使いの場合は、# を押すと、自動的に外線へ接続します。
 - 入力内容を修正する場合は、**戻る**を押します。



参考

登録済みの宛先の短縮ダイヤル番号を入力して**選択**を押すと、宛先の編集または削除ができます。

- 登録した宛先を編集する場合は、[編集] を選び、登録内容を編集します。
- 登録した宛先を削除する場合は、[削除] を選びます。

E-mail 宛先を登録する

宛先とするメールアドレスを登録します。

- 1 [設定メニュー] - [宛先登録] - [E-mail] を選び、**選択**を押します。
- 2 登録する短縮ダイヤル番号をテンキーで入力し、**選択**を押します。
- 3 [登録名] を入力し（半角 72 文字／全角 10 文字以内）、**選択**を押します。
- 4 [常用]（よく送信する宛先）に設定する場合は [はい] を選び、**選択**を押します。
- 5 宛先とするメールアドレスを入力し（320 文字以内）、**選択**を押します。



参考

登録済みの宛先の短縮ダイヤル番号を入力して**選択**を押すと、宛先の編集または削除ができます。

- 登録した宛先を編集する場合は、[編集] を選び、登録内容を編集します。
- 登録した宛先を削除する場合は、[削除] を選びます。

7

索引

7 索引

E

ErP オートパワーオフ 3-6

U

USB メモリー 6-17
印刷のしかた 6-17

あ行

宛先登録 6-19
E-mail 送信 6-19
ファクス宛先 6-19
オプション構成 3-4

か行

各部の名前 3-2
前面 3-2
背面 3-3
画面の構成 3-9
コピー機能 6-15
コピー機能の紹介 6-16
コピーのしかた 6-15

さ行

準備
印刷 (USB 接続) 6-5
印刷 (ネットワーク接続) 6-2
ネットワーク設定 5-2
ファクス 5-3
スキャン機能 6-10
概要 6-10
送信のしかた 6-11
スリープ 3-6
節電モード 3-6
操作パネル 3-7

た行

短縮宛先
登録のしかた 6-19
手差しトレイ 4-5
電源 3-5
電源スイッチ 3-5
トレイ 1 4-7

な行

ネットワーク設定 5-2

は行

ファクス機能
概要 6-12
受信機能の紹介 6-14
準備 5-3
送信機能の紹介 6-14
送信のしかた 6-13
プリンタードライバー 6-2
インストール (USB 接続) 6-5
インストール (ネットワーク接続) 6-2
初期設定 6-8

プリント機能 6-2
印刷のしかた 6-9

ま行

メイン画面 3-9
文字入力のしかた 3-11

や行

ユーザズガイド 2-2
用紙
使用できない用紙 4-4
対応用紙サイズ 4-3
対応用紙種類 4-2
保管のしかた 4-4
用紙のセット
手差しトレイ 4-5
トレイ 1 4-7

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
製造元
コニカミノルタ株式会社